

漢字の読み方と使い方 (1) 一つの漢字にいろいろな音

教科書の124ページを、辞書に
分らない言葉は、辞書で意味を調べましょう。

① 線の漢字の読み方を書きましよう。

- ・人間にとつて、時間(かん)は大切な財産である。
- ・祖母が学んだ読本を借り、音読してみた。(ちよく)
- ・直接会つて、正直(じき)に話し、謝罪する。(みよ)
- ・明後日、兄は志望校の説明会に行く。

読本(とくほん)とは

太平洋戦争前まで小学校で国語の授業に使用した教科書のこと。また、読みやすいようにやさしく書かれた入門書や解説書のこと。

例「文章読本」

——線の漢字のように、漢字には複数の音をもつて生活であまり使わない言葉で用いられる読み方は覚えていくものです。この学習を通して、ふだんなかなか使わない漢字の読み方を知り、覚えましよう。

② 次の言葉の読み方を()に書きましよう。

- ① 園工 (ずこう)
- 大工 (だいく)
- ② 一週間 (いっしゅうかん)
- 人間 (にんげん)
- ③ 平和 (へいわ)
- 平等 (びやうどう)
- ④ 下校 (げこう)
- 地下 (ちか)

漢字の読み方と使い方 (3) 一つの漢字にいろいろな音

教科書の124ページをよく読んで進めましよう。
分らない言葉は、辞書で意味を調べましよう。

① 次の漢字の読み方で、正しい方に○をつけましよう。

- ① 絵画 () えいが () かいが
- ② 明暗 () めいあん () みようあん
- ③ 色调 () しきちよう () いろしらべ
- ④ 熱湯 () あつゆ () ねつどう

② 次の言葉の読み方を()に書きましよう。

- ① 家庭 (かてい) 家来 (けらい)
- ② 結合 (けつごう) 合作 (がつさく)
- ③ 金曜日 (きんようび) 金物 (かなもの)
- ④ 船舶 (ふねたび) 客船 (きやくせん)

漢字の読み方と使い方 (2) 一つの漢字にいろいろな音

教科書の124ページをよく読んで進めましよう。
分らない言葉は、辞書で意味を調べましよう。

① 矢印の方向に読むと、二字の熟語になるように□の中に漢字を入れます。その熟語と読み方を書きましよう。

③ 語 → □ ← 発 任 → □ ← 無	② 面 → □ ← 公 月 ← □ ← 式	① 時 → □ ← 連 来 → □ ← 休	(例) 本 → 名 → 案 大 → 名 → 人
無言 伝言 言語	正式 正月 正面	休日 来日 日時	名案 名人 本名 大名 連日 連日 連日
むごん だんごん げんご	せいしき しょうがつ しょうめん	きゅうじつ らいにち にちじ	めいあん めいじん ほんみょう だいまよう れんじつ

ヒント この中に答えの漢字があるよ(〇)/

足 正 開 日 年 言 人 表

漢字の読み方と使い方 (4) 一つの漢字にいろいろな音

教科書の124ページをよく読んで進めましよう。
分らない言葉は、辞書で意味を調べましよう。

① 矢印の方向に読むと二字の熟語になるように、□の中に漢字を入れます。その熟語と読み方を書きましよう。

③ 界 → □ ← 中 出 → □ ← 紀	② 対 → □ ← 体 国 → □ ← 起	① 格 → □ ← 図 唱 → □ ← 結	③ 本 → □ ← 点 音 → □ ← 解
世紀 出世 世界 中世 瞭解 音読 読書 読点	起立 国立 对立 立体 結合 合唱 合格 合図	合唱 合格 合図 結合 合唱 合格 合図	読点 読書 音読 瞭解 中世 世界 出世 世紀
せいぎ しゅっせ せかい ちゅうせい どうかい おんどく とくほん とうてん	きりつ こくりつ たいりつ りつたい けつごう がっしょう こうかく あいず	がっしょう けつごう りつたい たいりつ こくりつ きりつ	とうてん とくほん おんどく どうかい ちゅうせい せかい しゅっせ せいぎ

ヒント この中に答えの漢字があるよ(〇)/

楽 立 世 合 読 語 文 学

漢字の読み方と使い方 (5) 特別な読み方をする言葉

教科書の125ページをよく読んで進めましょう。
分からない言葉は、辞書で意味を調べましょう。

- 1 教科書125ページを読み、次の文の()に当てはまる言葉を書きましょう。



- 「七夕」は(たなばた)と読む。
- 中国語では、七月七日の夜のことを、七夕 ()と表していた。その漢字を、日本語の(たなばた)に当てて、特別な読み方が生まれた。

このように、二字以上の漢字が結び付いた言葉の中には、全体をひとまとめでにして、特別な読み方をするものがあります。四年生までに習った「今日」「時計」「上手」などもこれに当てはまります。この学習では、特別な漢字の読み方をする言葉を知り、覚えましょう。

- 2 ーの言葉の読み方を()に書きましょう。

教科書を見よう

- 二人の友情は永遠に変わらない。 () ふたり ()
- 岩のすき間に清水がわいている。 () しみず ()
- 川原(河原)で昼食を食べた。 () かわら ()

漢字の読み方と使い方 (6) 特別な読み方をする言葉

教科書の125ページをよく読んで進めましょう。
分からない言葉は、辞書で意味を調べましょう。

- 1 ーの言葉の読み方を()に書きましょう。

教科書を見よう

- 昨日(け)がしたところを消毒(しょうじゆ)する。 () きのう ()
- この八百屋(や)は、元日から営業(えいぎや)している。 () やおや ()
- 妻(つま)といっしょに果物(くだもの)を買いに行く。 () くだもの ()
- おもちゃ売り場で、弟が迷子(まいご)になった。 () まいご ()
- 虫眼鏡(むしめがね)で太陽の光を集める。 () めがね ()
- 十月一日(いついち)にころもがえをする。 () ついたち ()
- 博士(はかせ)は、日々、精力的(せいりきてき)に研究(けんきゆう)している。 () はかせ ()

※「迷」読み方：まよ(う)、メイ ↓教科書106・289ページ
※「博士」には二つの読み方があります。

はかせ：学問やその道の知識に詳しい人。例「物知り博士」
はくし：大学の学位の一種



他にもあるし、読めるかな。

漢字の読み方と使い方 (7) 特別な読み方をする言葉

教科書の125ページをよく読んで進めましょう。
分からない言葉は、辞書で意味を調べましょう。

- 1 読み方が正しい方に○を書きましょう。

- ① 昨日 () あす ()
- () きょう ()
- ② 迷子 () まいご ()
- () よなご ()
- ③ 七夕 () ななゆう ()
- () たなばた ()
- ④ 上手 () へた ()
- () じょうず ()
- ⑤ 八日 () はつか ()
- () ようか ()
- ⑥ 今朝 () けさ ()
- () いまあさ ()
- ⑦ 下手 () じょうず ()
- () へた ()
- ⑧ 景色 () けいしき ()
- () けしき ()

漢字の読み方と使い方 (8) 特別な読み方をする言葉

教科書の125ページをよく読んで進めましょう。
分からない言葉は、辞書で意味を調べましょう。

- 1 ーの言葉の読み方を()に書きましょう。

- ① 八百屋(や)へ買い物に行く。 () やおや ()
- ② 三月二十日から休みです。 () はつか ()
- ③ 真つ赤な花が好きです。 () まっか ()
- ④ 一人ぼっちでさみしい。 () ひとり ()
- ⑤ この大木は、ぼくが小さいころにもあった。 () たいぼく ()
- ⑥ 人は生まれながらに平等(びやうびよう)です。 () びやうびよう ()



答え



暗号解読 (1)

教科書p.6・107ページをよく読んで決めよう。
分からない漢字は、漢字辞典や国語辞典で調べよう。

カンジ博士のところに、アンゴア教授から、漢字暗号文が送りました。

カンジ博士、わしが作った暗号文が解けるかな。

(1) 北西の●角で▲があったようだ。

(2) ●後、■書いて遊ぶ。

(3) 小説▲が書いた紀行文を読む。

アンゴア教授



ふむ、暗号じゃこの暗号文の●▲には、記号ごとに同じ漢字の別の漢字が入るんじゃないかな。

暗号解読の方法

① ●▲の記号が付いた言葉の中で、記号の中に入る音が予想できる言葉を見つけよう。

(1)の●には「方角」の(ホウ)という音が入ります。

② 分かった記号に音を書き入れ、それぞれの記号の音に合う漢字を見つけていこう。

ホウの音がある漢字といえば、方角の音に合う漢字があるな。

ホウの音がある漢字といえば、方角の音に合う漢字があるな。

(2)は「ウ」後、■書いて遊ぶ。ウの音がある漢字といえば、後か、後か。

ウの音がある漢字といえば、後か、後か。

ウの音がある漢字といえば、後か、後か。

それぞれの記号の音と漢字を書いて、暗号文を解読しよう。

(1) 北西の方角で火事があつたようだ。

(2) 放課後、児童館で遊ぶ。

(3) 小説家が書いた紀行文を読む。



月 日 中丸小 5年 名前 ()



暗号解読 (2)

教科書p.6・107ページをよく読んで決めよう。
分からない漢字は、漢字辞典や国語辞典で調べよう。

同じ読み方をもつ別の漢字を書きましよう。

① 富士○は、日本一の高さです。○(山)

② このリンゴは、青森○です。○(産)

③ 東京マラソンに○加します。○(参)

④ この人は、計○が迷い。○(算)



練習問題2 ○△には、記号ごとに同じ読み方の別の漢字が入ります。
○△に入る漢字を()に書きましよう。

- ① 駅近くの○△で遊ぶ。 ○(公)
- ② 電気○事が始まった。 ○(工)
- ③ 秋の△足で、水族館に行く。 △(遠)
- ④ ○通安全に気を付けましよう。 ○(交)



月 日 中丸小 5年 名前 ()



暗号解読 (4)

教科書p.6・107ページをよく読んで決めよう。
分からない漢字は、漢字辞典や国語辞典で調べよう。

それぞれの記号の漢字を書いて、暗号文を解読しよう。
●▲■には、記号ごとに同じ読み方の別の漢字が入ります。

① 水圧の実験で、仮説を立てる。

② 天候がよいので、流星の観測に成功しそうだ。

③ 健康に気をつけると、生活の基本とする。

④ 愛犬の写真を額にかざる。

⑤ 信号を整備して事故を防ぐ。

暗号3 それぞれの記号の漢字を書いて、暗号文を解読しよう。

① 旧道ぞいには商店が多い。

② 毎朝、規則正しく七時に起きる。

③ 貯金して自転車をかう。

④ 血液中の成分について、百科事典で調べる。

⑤ 学級新聞に文章を書く。

※区別しよう
・国語辞典・漢字辞典
・百科事典

()



暗号解読 (3)

教科書p.6・107ページをよく読んで決めよう。
分からない漢字は、漢字辞典や国語辞典で調べよう。

練習問題3 ○△口には、記号ごとに同じ読み方の別の漢字が入ります。
す。○△口に入る漢字を()に書きましよう。

① 入学○△に合口する。○(試) △(験) □(格)

② おやつは、□自分で持ちよる。 □(各)

③ 三角形の□度をはかる。 □(角)

④ 父の○事は、菓の△究だ。 ○(仕) △(研)

暗号1 それぞれの記号の読み方と漢字を書いて、暗号文を解読しよう。
う。●▲■には、記号ごとに同じ読み方の別の漢字が入ります。

① 親友と世界各地へ旅に出る。

② 山脈の正確な位置を調べる。

③ ライトに新品の電池を入れる。

④ 組織の一員としての責任を自覚する。

⑤ 進行方向に、建築中の家がある。



十の暗号文の読み方
「十」の読み方は「じゅう」です。

教科書p.6・107ページをよく読んで決めよう。
分からない漢字は、漢字辞典や国語辞典で調べよう。

()